

【氣韻】花園合同稽古会「きくーとどくーひびきあう」

【令和八年八月十七日(月)・十八日(火)】

「私はね、『鳥の声』や『風の声』を聴ける身体になりたいと思うんです。日常がどんなに絶望的であっても、ほんの一瞬でも、『それ』が聴ける瞬間があると、『ああこれで、今日一日を生きられる』と、そう思うんです」

「今、『ちゃんと声を出す』っていうことが、みんなできなくなっていると思うんです。『ちゃんと』っていうのは『体から声を出す』っていうことで……。アナウンサーでも裏声のような出し方する人が増えてますけど、そもそも日常で入ってくる音がデジタルばかりで……。みんな『生の音』を聞けてない。生の音は、『体に伝わる音』です。『体に伝わる音』っていうのは、理屈なしに『心地よい』と感じる音で……」

「私はジャズシンガーとして、『本当の唄を学びたい』と思っていた昭和六十年頃にダン先生に出会って……。その後『身体教育研究所』を立ち上げた先生が『氣韻』の稽古を始められたときに、『これだ!』と思って、『氣韻を基調にして、私は唄って行くんだ』と決めたんです。けれどそれしたら、まともに歌えなくなってしまうって……。一度歌を辞めたんです。そこから私の研究が始まりました。『氣韻で唄うには、どうしたらいいのか?』と。まず取り組んだのが……」

「これだけ素晴らしい技法をね、知らない世代が多いというのはもったいないと思ってーみんなに、この氣韻の体験をとにかくして欲しいっていうか、素晴らしさをちょっとでもね、分かるようになれば世界が広がるって思うんです。氣韻は他の稽古と全然違う世界が広がっていく可能性があるわけでー声だけじゃなく、例えば源氏物語とか和歌とか、音楽、自然と触れ合うことー……だから氣韻は、教える人によっても、その広がりがね、多岐にわたっていくと思うんですよね。だからこそ、もう遅いかもしれないけれど、知らない世代にここで伝えておきたいってー」

「ほんの一瞬の幸せでいいんです。あつと言う間に終わる出来事の中に、生きていてよかったと思える感動があるから。『生の音を浴びる体験』をしていく中で、何気ない『きく』っていうことが、こんなに豊かな体験なんだって感じていたら……」

(合同稽古会 企画会議中の会話より)

☆お話の続きはこちら(↓)にて、随時更新予定



●八月十七日(月)

・三千円(通し参加で)

①『残響と余韻』音が、話しが、響いてくるということ

・単発 千五百円

十六時―十七時半 山中一弘(技術研究員)

②『氣韻発声法』基礎

※初心者向け

・単発 二千円

十八時―二十時

覚張幸子(専科動法教授者)

「裏面につづく」

●八月十八日（火）

・四千元（通し参加で）

③『残響と余韻』味覚と聴覚の拡がり

・単発 千五百円

十一時～十二時半

山中一弘（技術研究員）

④『気韻発声法』応用

・単発 三千元

十三時～十七時半（休憩あり）

覚張幸子（専科動法教授者）

※野口裕之講師の公開講話出席者対象

【会場】花園稽古場（京都市右京区花園伊町38番地 山内ビル4F）

【定員】十二名（各回／先着順）

【応募方法】 下記のQRコードを読み取り、受付ページよりお申し込み



または左記の番号宛にお電話にてお申し込み

【お問合せ先】

電話：090-6114-7382（10時～22時）

メールアドレス：hanawakurenaianagiwamidori@gmail.com

担当者：山中一弘（晴風学舎 技術研究員）

『みんなの音が響き合う空間』

～好きな音を持ち寄って「今」を味わう～

●八月十九日（水）

十五時～十六時半（出入り自由）

【会場】京都右京ふれあい文化会館 リハーサル室（花園駅 徒歩4分）

【担当】覚張幸子（ジャズユニット「風狂知音」ボーカル）

【内容】「あなたの好きな音」を自由にお持ちください（鈴、鐘、石、木、紙など）

誰かが鳴らした音の響きを感じて、「今」を捉えて音を鳴らします

音の響きあう心地よさ、その一瞬ごとに生まれては消えてゆく幸せを味わいます

【予約不要】だれでも参加できます。受付もありません

【出入り自由】常時出入り自由です。5分だけただ「音の空間」に浸るのもOKです

【投げ銭形式】満足度に応じた金額を、会場に置かれたビンの中へ、

好きなタイピングで入れていただきます（コインの音も響き合います）

※晴風学舎の稽古会ではなく、「風狂知音」覚張幸子の音楽活動としてのワークショップです

★大阪のお知らせ★

●九月十二日（土）

西成稽古場にて、覚張幸子の『気韻発声法』稽古会 十一時～十五時半

●九月十三日（日）

吹田市「浜屋敷」にて、覚張幸子の『音が響き合う空間（仮）』十七時～